

## カブトムシの異変

昨年は、事務所内に設置した衣装ケース内でカブトムシの幼虫を2月ころから飼育し始めました。園内で作成した腐葉土の中で順調に成長し、6月末には多数の成虫が腐葉土上で動き出し感動しました。さらに、8月末には、衣装ケース内で卵や幼虫を確認でき、カブトムシの育成は簡単だと思っていました。



昨年羽化した成虫



昨年見つけた卵

今年は卵から育てた幼虫の成長を観察すると同時に、園内で育った幼虫と比較するために、10月にもう1つ衣装ケースを用意して飼育することにしました。事務所生まれの幼虫の方が大きく育っていると考えていましたが、自然に揉まれて育った園内の幼虫の方がはるかに大きく成長しており、かなりの差があり驚きました。



10月中旬のころ



5月中旬のころ

5月になって、そろそろサナギに成り始めるころでしたが、成長の様子を比べてみました。写真で見ても一目瞭然ですが、長さで1.5倍、体積では倍以上の差がありました。それでも順調に生育しているものと思い、小ぶりながらも立派な成虫になることを願っていました。



今年の夏は、早い梅雨明けや梅雨明け後のぐずついた天気など、7月中はいつから夏なのか悩むような天候でした。そのためなのか、7月になってもカブトムシの成虫をなかなか見られませんでした。中旬になって姿を現しましたが、1匹だけです。寂しい夏の始まりでした。